

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東

コード番号

3443 URL https://www.kawada.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 TEL 03-3915-7722 (氏名)渡邉 敏

2024年2月13日 配当支払開始予定日 -四半期報告書提出予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無 :無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	96, 884	19. 2	5, 262	286. 7	6, 142	169. 5	4, 034	203. 2
2023年3月期第3四半期	81, 304	4. 0	1, 360	△74.8	2, 279	△61.4	1, 330	△66.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,865百万円 (99.8%)

2023年3月期第3四半期2,434百万円 (△43.7%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	694. 39	693. 18
2023年3月期第3四半期	226. 34	_

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	166, 915	79, 428	46. 8
2023年3月期	162, 158	76, 697	46. 6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 78.173百万円 2023年3月期 75,615百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭				
2023年3月期	_	_	_	210.00	210.00				
2024年3月期	_	_	_						
2024年3月期(予想)				300.00	300.00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128, 000	8. 4	7, 400	47. 3	8, 700	38. 1	5, 700	34. 7	994. 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	5, 917, 370株	2023年3月期	5, 917, 370株
2024年3月期3Q	186, 025株	2023年3月期	39, 450株
2024年3月期3Q	5, 810, 299株	2023年3月期3Q	5, 879, 064株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	. 当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報)	8
3.	. 補足情報	10
	受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高96,884百万円(前年同四半期比19.2%増)、営業利益5,262百万円(同286.7%増)、経常利益6,142百万円(同169.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,034百万円(同203.2%増)となりました。受注高につきましては89,469百万円(同6.6%減)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。 (セグメントの業績については、セグメント間の内部売上 高等を含めて記載しています。)

(鉄構セグメント)

当セグメントの中の鋼製橋梁事業につきましては、受注高は当第3四半期連結累計期間における発注が低調に推移する中、当第3四半期に国土交通省と地方自治体発注の工事を受注することができました。しかしながら前第3四半期連結累計期間に国土交通省を中心とした大型工事の受注を積み上げることができた反動で前年同四半期を下回る結果となりました。売上高は、高速道路会社発注の大型新設工事が概ね順調に進捗したことや、SCデッキ(合成床版)の製作が増加したことで前年同四半期を上回りました。損益面においては、大型更新工事での設計変更が獲得できたことやSCデッキの採算性が改善したことで前年同四半期を上回りました。

鉄骨事業につきましては、受注高は首都圏での大型再開発工事を積み上げることができたものの、前第3四半期連結累計期間に九州地区での半導体関連施設の大型受注があった反動などで前年同四半期を下回りました。売上高は首都圏の大型再開発工事が順調に推移したことで前年同四半期を上回りましたが、損益面については関西圏を中心に設計変更が獲得できたものの、首都圏の一部案件で、当第3四半期連結累計期間での設計変更の合意までには至らず、前年同四半期を下回る結果となりました。

セグメント全体では売上高45,130百万円(前年同四半期比15.8%増)、営業利益2,796百万円(同34.3%増)となりました。また、受注高は40,222百万円(同14.3%減)となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにつきましては、受注高は新設工事、保全事業を中心に受注を積み上げることができたものの、 更新事業が低調に推移したことで19,321百万円(前年同四半期比25.3%減)と前年同四半期を下回りました。売上 高は、更新工事と保全工事が概ね順調に推移したことにより26,345百万円(同5.6%増)と前年同四半期を上回り ました。また損益面につきましても、更新事業と保全事業の採算性改善が図れたことにより営業利益1,274百万円 (同176.1%増)と前年同四半期を上回ることができました。

(建築セグメント)

建築セグメントにつきましては、受注高は当第3四半期に多層階物流倉庫や大型システム建築を受注することができたことで17,043百万円(前年同四半期比49.7%増)となりました。売上高は、大型システム建築に加え、多層階大型物流倉庫の進捗が概ね順調に推移したことにより14,964百万円(同82.7%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、当第3四半期に完成を迎えた大型工事での原価改善や設計変更の獲得が図れたことで営業利益1,491百万円(前年同四半期は営業損失600百万円)と前年同四半期から大幅に改善することができました。

(ソリューションセグメント)

当セグメントの中のソフトウエア関連事業につきまして、当第2四半期連結累計期間に引き続き当第3四半期においても三次元CADのソフトウエア販売に加え、受発注者間で情報を共有できるCloudサービス事業が好調に推移しました。ロボット関連事業につきましても販売台数を伸ばすことができたことで、セグメント全体では受注高6,187百万円(前年同四半期比8.0%増)、売上高5,407百万円(同21.8%増)、営業利益2,062百万円(同46.7%増)となりました。

(その他)

その他につきましては、航空機使用事業においてドクターヘリや訓練事業を中心に売上高を伸ばすことができたものの、損益面は定期路線事業の機体用部品価格の高騰による原価増などで、売上高は6,299百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業損失357百万円(前年同四半期は営業損失43百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」は166,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,757百万円(+2.9%)増加しました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が6,979百万円、関係会社株式が1,490百万円それぞれ増加し、流動資産のその他(未収消費税等)が3,361百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は87,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,026百万円(+2.4%)増加しました。これは主に、長期借入金が3,298百万円、流動負債のその他(預り金)が989百万円、社債が685百万円それぞれ増加し、短期借入金が2,880百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は79,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,731百万円(+3.6%)増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2,800百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から46.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績及び最近の業績動向を踏まえ、前回発表(2023年11月10日)の通期連結業績予想を上回る見込みでありますので、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正させて頂きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

資産の部	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
流動資産		
現金預金	15, 746	14, 577
受取手形・完成工事未収入金等	69, 206	76, 186
未成工事支出金	120	306
その他の棚卸資産	1, 254	1, 385
その他	6, 634	3, 088
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	92, 956	95, 538
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5, 690	6, 240
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	2, 617	3,030
航空機(純額)	826	820
土地	14, 957	14, 957
リース資産 (純額)	2, 641	2, 646
建設仮勘定	308	264
有形固定資産合計	27, 042	27, 960
無形固定資産	1, 177	1, 242
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 496	3, 449
関係会社株式	35, 522	37, 012
繰延税金資産	1, 220	953
その他	757	774
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	40, 981	42, 174
固定資産合計	69, 201	71, 377
資産合計	162, 158	166, 915

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部	(2020 + 0) [0] [1	(2020—12)101 H)
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29, 211	27, 07
短期借入金	20, 380	17, 50
1年内返済予定の長期借入金	3, 998	4, 55
1年内償還予定の社債	680	96
リース債務	578	56
未払法人税等	1, 104	95
未成工事受入金	4, 631	5, 11
前受収益	1, 951	2, 11
賞与引当金	2, 061	1, 09
完成工事補償引当金	67	6
工事損失引当金	1, 777	1, 94
その他	2, 898	5, 29
流動負債合計	69, 341	67, 24
固定負債		01,23
社債	1,910	2, 59
長期借入金	6, 892	10, 19
リース債務	2, 341	2, 36
繰延税金負債	120	15
再評価に係る繰延税金負債	1, 474	1, 47
役員退職慰労引当金	647	72
退職給付に係る負債	2, 440	2, 48
資産除去債務	132	13
負ののれん	73	Ę
その他	86	6
固定負債合計	16, 119	20, 24
負債合計	85, 460	87, 48
地資産の部		01, 10
株主資本		
資本金	5, 288	5, 28
資本剰余金	10, 778	10, 83
利益剰余金	55, 247	58, 04
自己株式	△140	$\triangle 1,04$
株主資本合計	71, 173	73, 12
その他の包括利益累計額		10, 12
その他有価証券評価差額金	2,070	2, 30
土地再評価差額金	976	97
為替換算調整勘定	1, 163	1, 49
退職給付に係る調整累計額	230	27
その他の包括利益累計額合計	4,441	5, 05
新株予約権		0,00
非支配株主持分	1,079	1, 25
純資産合計	76, 697	79, 42
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	162, 158	166, 91

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	81, 304	96, 884
売上原価	72, 053	83, 352
売上総利益	9, 250	13, 531
販売費及び一般管理費	7, 889	8, 268
営業利益	1, 360	5, 262
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	74
受取賃貸料	109	115
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	1, 126	1,064
補助金収入	158	306
その他	62	67
営業外収益合計	1, 537	1, 643
営業外費用		
支払利息	196	276
賃貸費用	346	363
その他	75	122
営業外費用合計	618	762
経常利益	2, 279	6, 142
特別利益		
補助金収入	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	329	_
固定資産圧縮損	0	4
投資有価証券評価損	18	_
特別損失合計	348	4
税金等調整前四半期純利益	1, 931	6, 142
法人税、住民税及び事業税	548	1, 222
過年度法人税等	21	336
法人税等調整額	△97	330
法人税等合計	472	1, 889
四半期純利益	1, 459	4, 253
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 330	4,034

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1, 459	4, 253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	△32
退職給付に係る調整額	$\triangle 45$	$\triangle 21$
持分法適用会社に対する持分相当額	586	665
その他の包括利益合計	975	611
四半期包括利益	2, 434	4, 865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2, 304	4, 644
非支配株主に係る四半期包括利益	130	220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式172,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,048百万円となっています。

(セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	∧ ∌1.
	鉄構	土木	建築	ソリューシ ョン	計	(注)	合計
売上高							
一時点で移転される財	101	1	88	435	627	3, 313	3, 940
一定の期間にわたり移転され る財	38, 364	24, 703	8, 103	3, 776	74, 947	2, 260	77, 208
顧客との契約から生じる収益	38, 465	24, 705	8, 191	4, 211	75, 574	5, 574	81, 149
その他の収益	22	28		_	51	104	155
外部顧客への売上高	38, 488	24, 734	8, 191	4, 211	75, 625	5, 678	81, 304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	501	218	-	227	946	173	1, 120
計	38, 989	24, 952	8, 191	4, 438	76, 572	5, 852	82, 424
セグメント利益又は損失(△)	2, 082	461	△600	1, 406	3, 349	△43	3, 305

- (注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

	(十四・日/311)
利益	金額
報告セグメント計	3, 349
「その他」の区分の損失(△)	△43
セグメント間取引消去	△225
全社費用 (注)	△2, 095
その他の調整額	375
四半期連結損益計算書の営業利益	1, 360

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	1					· · · · ·	<u> </u>
	報告セグメント					その他	∧ ∌1.
	鉄構	土木	建築	ソリューシ ョン	計	(注)	合計
売上高							
一時点で移転される財	174	30	76	802	1, 084	3, 430	4, 514
一定の期間にわたり移転され る財	44, 448	25, 935	14, 888	4, 349	89, 622	2, 542	92, 164
顧客との契約から生じる収益	44, 623	25, 966	14, 964	5, 152	90, 706	5, 972	96, 679
その他の収益	22	39	_	_	61	143	204
外部顧客への売上高	44, 645	26, 005	14, 964	5, 152	90, 768	6, 115	96, 884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	485	340	-	254	1, 080	183	1, 264
計	45, 130	26, 345	14, 964	5, 407	91, 848	6, 299	98, 148
セグメント利益又は損失(△)	2, 796	1, 274	1, 491	2, 062	7, 626	△357	7, 268

- (注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	7, 626
「その他」の区分の損失(△)	△357
セグメント間取引消去	△194
全社費用 (注)	△2, 155
その他の調整額	344
四半期連結損益計算書の営業利益	5, 262

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1)受注高 (単位:百万円、%)

セグメントの名称	(自 2022年]連結累計期間 年4月1日 年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増	減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	46, 944	49. 0	40, 222	45. 0	△6, 722	△14. 3
土木	25, 859	27. 0	19, 321	21. 6	△6, 537	△25. 3
建築	11, 388	11. 9	17, 043	19. 0	5, 654	49. 7
ソリューション	5, 727	6. 0	6, 187	6. 9	459	8.0
その他	5, 912	6. 1	6, 695	7. 5	783	13. 2
合計	95, 832	100. 0	89, 469	100.0	△6, 362	△6. 6

(2) 販売高 (単位:百万円、%)

セグメントの名称	(自 2022年			引連結累計期間 年4月1日 年12月31日)	増	減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	38, 989	47. 3	45, 130	46. 0	6, 141	15. 8
土木	24, 952	30. 3	26, 345	26. 8	1, 393	5. 6
建築	8, 191	9. 9	14, 964	15. 3	6, 772	82. 7
ソリューション	4, 438	5. 4	5, 407	5. 5	968	21.8
その他	5, 852	7. 1	6, 299	6. 4	447	7. 6
合計	82, 424	100.0	98, 148	100. 0	15, 723	19. 1

(3) 次期繰越高 (単位:百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2022年12月31日)			四半期 †期間末 2月31日)	増	減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	85, 824	53. 7	80, 081	55. 0	△5, 742	△6. 7
土木	48, 163	30. 2	42, 076	28. 9	△6, 087	△12. 6
建築	21, 162	13. 2	18, 605	12. 8	△2, 557	△12. 1
ソリューション	4, 022	2. 5	4, 135	2.8	112	2.8
その他	568	0. 4	787	0. 5	219	38. 5
合計	159, 741	100. 0	145, 686	100. 0	△14, 055	△8.8

⁽注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。